

広域連携の促進に大きく寄与するバイパスルートの整備

【担当省庁】国土交通省

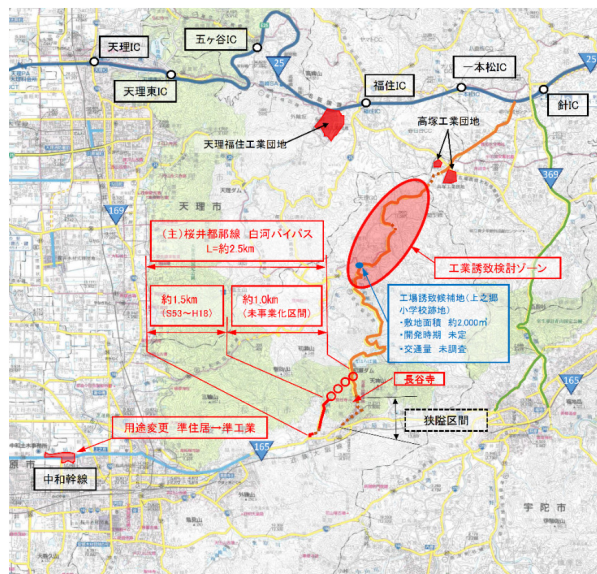
桜井市における取組

(現状・課題)

主要地方道桜井都祁線は、名阪国道針ICと国道165号を結ぶ広域幹線ネットワークです。白河から初瀬川上区間の道路整備は、幅員狭隘区間の解消や、広域連携の促進に大きく寄与すると共に、地域の混雑改善や産業の活性化につながります。

また、市の観光拠点の1つである長谷寺周辺は、特に現道が狭隘な参道になっており、長谷寺門前町周辺地区では、平成28年3月に奈良県と本市が長谷寺門前町周辺地域の賑わいづくりの基本協定を結び、安心安全なまちづくり施策（長谷寺参道モール化）や新たな拠点づくり（工業誘致ゾーン）等、地域の賑わい創出を目指しており、そのために「白河バイパス」は是非とも必要であります。

更に、桜井市のみならず、奈良県の中南和地域の振興においてもなくてはならない重要な路線であり、名古屋方面から名阪国道の危険な箇所を bypass せずに中南和地域へとつながる観光・物流のルートが確保できると共に、中和幹線沿道への企業誘致にも大きく寄与すると考えます。



国にお願いすること

- 主要地方道桜井都祁線（白河バイパス）の整備は、広域連携の促進に不可欠なものであり、県並びに市町村の様々な施策展開に大きく寄与するものであります。
- つきましては、市の観光拠点の1つである長谷寺を中心とした安心安全なまちづくり施策（長谷寺参道モール化）や新たな拠点づくり（工業誘致ゾーン）等、地域の賑わい創出に、なお一層、努力してまいりますので、何卒、令和6年度奈良県全体の「社会資本整備総合交付金」の総額確保に関しまして、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

【担当部署】桜井市土木課